

海を渡る 獅子舞

交流展

高雄の「舞獅」文化

Lion Dance Across the Sea
Kaohsiung Lion Dance Competition



令和6年

8.3 土曜日 Sat. > 9.1 日曜日 Sun.

氷見市立博物館 特別展示室

開館時間 | 午前9時~午後5時

休館日 | 8月5日(月)・8月13日(火)
8月19日(月)・8月26日(月)

開幕式・資料解説会 | 8月3日午前9時より

参加
自由

観覧無料

主催 | 氷見市立博物館 高雄市立歴史博物館 | 特別協賛 | 文部科学省

協力 | 外交部 台湾基隆長興呂師父龍獅團 内門紫竹寺 財団法人小港龍湖廟 高雄市政府觀光局
高雄市美濃區龍山國民小學 高雄市美濃區東門國民小學 國立台灣歷史博物館 新竹縣客家藝術舞獅發展協會
獅公館工坊 吳騰達 林奕伶 林義安 陳佳琦 陳冠良 張尚承恩 高喬森 黃文博 黃巧惠 趙守彥

はじめに

氷見市立博物館と台湾の高雄市立歴史博物館は令和2年に友好協定を結んで以降、高雄市で氷見の獅子舞資料を展示するなど文化的な交流を続けてきました。そうした中で今年度は当館で高雄市を中心とした台湾の舞獅資料を展示する特別展を開催することになりました。

「舞獅/獅子舞」文化は双方の地域で伝統行事として人々の生活に溶け込んでいます。今回の特別展ではその違いや共通点を知っていただくことで、互いの歴史や文化への理解が更に深まり、更なる友好を深める機会となれば幸いです。

海を渡る獅子舞—高雄の「舞獅」文化

台湾の「舞獅」も日本の「獅子舞」も、ルーツは紀元前のインド地方にあり、そこから中国を経由し台湾や朝鮮半島など様々なルートで日本各地に伝わり、それぞれの地方で獅子舞文化は多様な発展をとげました。ともに港町の高雄市と氷見市では「舞獅/獅子舞」が祭りで重要な役割を果たしています。

「氷見獅子」は、市内においても地区ごとに行われる演目や所作には違いがあります。一方、台湾の「舞獅」にも北部と南部の地域性による違いがあり、更に第二次世界大戦後に中国からの移住者により伝えられたものも含めると、地域ごとに多様な舞獅が存在しています。特に「高雄獅子」では、台湾中でよく知られている「宋江獅陣」と「高雄戲獅甲」をはずせません。

「氷見獅子」と「高雄獅子」、雰囲気は異なりますが、どちらもそれぞれの文化の中で数百年にわたって受け継がれてきました。本展を通じて台湾の伝統芸能の持つ魅力を身近に感じていただければ幸いです。



「高雄戲獅甲」は、舞獅によるパフォーマンスを中心とした国際的なコンテストです。
(高雄市立歴史博物館蔵)



台湾の舞獅は宗教的な色彩が強く、獅子の額には厄除けや招福を祈願する文様が多く描かれています。(高雄市立歴史博物館蔵)



高雄市内門区で演じられる舞獅の一種である宋江獅陣で活躍する八頭の獅子。
(高雄市政府観光局提供)

氷見市立博物館

〒935-0016 富山県氷見市本町 4 番 9 号
TEL.0766-74-8231 FAX.0766-30-7188
E-mail : hakubutsukan@city.himi.lg.jp
U R L : <https://www.city.himi.toyama.jp/section/museum/>

●交通機関

鉄 道／ JR 氷見線氷見駅下車、北西へ 500m 徒歩 7 分。

バ ス／高岡駅前から加越能交通バス氷見方面行、「南大町口」下車、徒歩 1 分。

自動車／能越自動車道氷見インターから東に 3km。

●氷見市立博物館は、氷見市教育文化センター内にあります。

